

日本には、まだまだ膨大な資源が埋まっている。夢やアイデアという、途轍もない埋蔵資源が眠っている。しかしどんなにすごい閃きも、カタチにならなければ空想のまま。金属のカタマリを思いのままに「切り」「削り出す」ことで、つくり手の情熱や想いを現実に変えていこう。世界を驚かせる、まだ見ぬイノベーションを叶えていこう。

日進工具は1954年の創業以来、切削用工具であるエンドミルの革新に挑み、様々なモノの原型となる金型の進化や部品の小型化・高精度化に貢献してきました。もっと鋭く、強く。もっと精緻に、自在に。私たちはこれからも、超硬小径エンドミルの開発・製造に特化し、そのヤイバを研ぎ澄ますことで、世界に誇れる Made in Japan の未来を切り拓いていきます。今はまだ誰も想像さえしていない、「つくる」の先を見つめて。

「つくる」の先をつくる

つくるの先

